

平成 17 年 10 月 5 日
株式会社アイワイバンク銀行

平成 18 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社アイワイバンク銀行（東京都千代田区、代表取締役社長 安齋 隆）は、最近の業績の動向等を踏まえ、本年 5 月 6 日の決算発表時に公表した平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想を、下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1 . 平成 18 年 3 月期 業績予想の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（金額単位：億円）

	経常収益	経常利益	特別損益	法人税等 及び 法人税等 調整額	当期 純利益	利益 剰余金
前回発表予想（A）	558	90	17	29	43	1
今回修正予想（B）	639	161	26 1	52 2	82	37
増減額（B - A）	81	71	9	23	39	38
増減率（％） < 小数点第二位以下四捨五入 >	14.5	78.9	52.9	79.3	90.7	-
（ご参考） 平成 17 年 3 月期実績 < 億円未満を切り捨て表示 >	479	100	1	9	108	45

- 1 特別損益の今回修正予想は、勘定系システムの更改に伴う現行勘定系システムの除却損 17 億円（前回発表済み）と、今期発生する商号変更にかかる費用 9 億円を合計したものです。
- 2 法人税等及び法人税等調整額の今回修正予想は、法人税等調整額の税効果会計における繰越欠損金等にかかる繰延税金資産の取崩しのほか、法人税等を合計して見込んだものです。

2. 業績予想の修正理由等

(1) 経常収益の上方修正(558億円 639億円)について

- 各金融機関との提携および ATM 展開の拡大や個人所得が着実に増加する中で、お客さまの認知増伸策の奏功もあって、ご利用件数が当初想定を上回る増加を示しています。
- このような上期の ATM 利用状況を踏まえ、今年度(通期)の ATM1日1台あたりの利用件数見込みを、前回予想の約78件から約88件へと引き上げております。
- 当社の主たる収益は、提携先の銀行をはじめとした各金融機関のお客さまが、当社の ATM をご利用された際の当該金融機関からの受取手数料であるため、ATM 利用件数を当初計画対比、引き上げたことに伴い、ATM 利用手数料収入を主体とする経常収益見込みを上方修正いたします。

(2) 経常利益の上方修正(90億円 161億円)について

- 上記の通り ATM 利用件数の増加による ATM 運営費用の増加や、商号変更等に伴う広告宣伝活動の積極化等により経常費用も増えると想定しておりますが、経常収益の増加がそれを上回る見込みであるため、経常利益の予想を上方修正いたします。

(3) 当期純利益の上方修正(43億円 82億円)について

- 法人税等調整額については、税効果会計における繰越欠損金等にかかる繰延税金資産の取崩しにより25億円を見込んでおります。また、法人税等額は、当期業績予想に基づき、27億円と見込み算定しております。
- この結果、当期純利益につきましても、今期の見込みを上方修正いたしました。

以上

(注)本資料における業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、実際の業績結果と異なる場合があります。